

「第2次小金井市自殺対策計画」 前回資料（11月27日会議）からの修正点 **(1ページ目差し替え)**

1 11月27日から12月12日（パブリックコメント実施前）に加えた修正点

ページ	修正か所	修正内容
表紙	「第2次小金井市自殺対策計画 こころに寄り添い いのちを支えるまち 小金井」	「第2次小金井市自殺対策計画 こころに寄り添い いのちを支え合うまち 小金井」
目次		資料編 の目次を追加
1	<p>1 計画策定の趣旨</p> <p>「平成10年以降、14年連続して日本国内の自殺者数が3万人を超える状態が続いていましたが、平成24年に15年ぶりに3万人を下回りました。また、平成22年以降は9年連続の減少となり、平成30年は2万840人で昭和56年以来37年ぶりに2万1,000人を下回りました。しかし、依然として、2万人を超える方が自ら命を絶っており、深刻な状況が続いています。</p> <p>自殺者数が減少してきている一方、若年層では、20歳未満の自殺者数は平成10年以降ほとんど減少していない状態となっており、20歳代や30歳代における死因の第1位が自殺であり、自殺者数も他の年代に比べてピーク時からの減り方が少なくなっています。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等で自殺の要因となる様々な問題が悪化したこと等により、女性や若者の自殺が増加しました。」</p>	<p>「平成10年以降、14年連続して日本国内の自殺者数が3万人を超える状態が続いていましたが、平成24年に15年ぶりに3万人を下回りました。また、平成22年以降は9年連続の減少となり、平成30年は2万840人で昭和56年以来37年ぶりに2万1,000人を下回りました。</p> <p><b>しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等で自殺の要因となる様々な問題が悪化したこと等により、女性や若者の自殺が増加するなど、令和2年で11年ぶりに総数が増加に転じて2万1,081人、令和4年には2万1,881人となり、依然として、2万人を超える方が自ら命を絶つという</b>深刻な状況が続いています。</p> <p>若年層では、20歳未満の自殺者数は平成10年以降ほとんど減少していない状態となっており、20歳代や30歳代における死因の第1位が自殺であり、自殺者数も他の年代に比べてピーク時からの減り方が少なくなっています。」</p>